

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：特別養護老人ホーム ひらまの里	種別：介護老人福祉施設
代表者氏名：佐藤 徹	
定員（利用人数）：100名（内特養90名、ショートステイ10名）他、通所定員35名	
所在地：〒211-0013 川崎市中原区上平間611-1	
TEL：044-544-3994	ホームページ： http://kfj.or.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：1999年04月01日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 川崎市社会福祉事業団	
職員数	常勤職員：39名 非常勤職員：9名
専門職員	（専門職の名称）：名
	介護福祉士：24名 介護支援専門員：3名
	社会福祉士：2名 看護師：5名
	理学療法士：1名 管理栄養士：1名
施設・設備 の概要	（居室数） 居室：一人部屋(10室) 居室：二人部屋(9室) 居室：四人部屋(18室)
	（設備等） 設備：厨房
	設備：洗濯室
	設備：事務室
	設備：会議室
	設備：休憩室
	設備：面接室
	設備：静養室
	設備：脱衣室
	設備：医務室
	設備：一般浴室
	設備：中間浴室
	設備：更衣室
	設備：宿直室
	設備：警備室
	設備：デイサービス事務室
	設備：デイサービス食堂
設備：地域交流室	
設備：機能訓練室	
設備：ボランティア室	
設備：福祉用具展示コーナー	
設備：介護サービスステーション	
設備：食堂	
設備：テイルーム	

	設備：トイレ
	設備：車イス用トイレ
	設備：中庭
	設備：テラス
	設備：エレベーター

③理念・基本方針

<p><理念></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 充実した質の高いサービスの提供 2. 地域に根差した施設運営 3. 人材の確保・定着・育成 4. 法人の経営基盤の整備 <p><基本方針></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ご利用者様の尊厳を支えご利用者様お一人お一人が充実した1日を過ごせるようご支援します。 2. 職員の資質の向上を図り専門性の高いサービスをご提供します。 3. 地域に開かれた施設として相談・サービス情報の提供・人的交流等を通して高齢者福祉を中心とした地域福祉のネットワーク作りを行います。

④施設・事業所の特徴的な取組

<p><特別養護老人ホームひらまの里の特徴的な取組>（基本情報I-3の記載事項）</p> <p>●個別ケア（経口摂取維持に関するケア、トランス・ポジショニング技術、オムツだけに頼らない排泄ケア）の充実のため、各担当で定期的に話し合い、研修を行う等学びを深めている。</p>
--

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年07月25日（契約日） ～ 2024年03月01日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2020年度）

⑥総評

<p>【特別養護老人ホーム ひらまの里の概要】</p> <p>●特別養護老人ホームひらまの里(以下、ひらまの里という)は、社会福祉法人川崎市社会福祉事業団(以下、法人という)の運営です。ひらまの里は、南武線鹿島田駅と平間駅の間道に位置し、近くに川崎市営バス上平間営業所があり、バスの便も良い立地です。また、県営上平間ハイムや川崎住宅、上平間五瀬沢住宅等の集合住宅が点在する中、戸建て住宅も多く立ち並ぶ住宅地の中に溶け込み、訪問しやすい施設です。</p> <p>●事業については、定員90名の従来型の多床室中心の特別養護老人ホームの他、短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護(定員10名)、通所介護・介護予防通所介護(デイサービス:定員35名)、居宅介護支援(ケアプランの作成等)、地域包括支援センターのサービスを提供しています。運営方針は、①「ご利用者様の尊厳を支えご利用者お一人お一人が充実した1日を過ごせるようご支援します」、②「職員の資質の向上を図り専門性の高いサービスをご提供します」、③「地域に開かれた施設として相談・サービス情報の提供・人的交流等を通して高齢者福祉を中心とした地域福祉のネットワーク作りを行います」とし、さらに今後、地域の自治会やボランティア団体との連携強化を</p>
--

目指しています。ひらまの里の特色は、個別ケアの実施と、利用者一人ひとりに合わせた介護を提供し、ノーリフティングケアを行い、双方に負担のないケア技術で安全・安心な介助を実施しています。また、看取りケアに力を入れ、利用者の暮らしと安心を叶えるよう支援しています。

◇特長や今後期待される点

1. 【質の高い個別ケアの提供と利用者の尊厳保持】

ひらまの里では、質の高い個別ケアを提供するために、歯科医、歯科衛生士と協力して、利用者の口腔衛生環境と嚥下機能の維持向上について、職員研修を年2回開催し知識・技術を深めています。排泄についてはオムツだけに頼らない、利用者の状況に合わせたケアができていないかを毎月、排泄会議で確認し、その状況を現場職員へ周知を図り、利用者一人ひとりに合わせたケアが実現できています。また、利用者等に対する言葉遣いについては、敬語、丁寧語を遣い、相手の立場に立った対応を行うよう、毎日のミーティングや、目標管理の面接等の機会に繰り返し周知徹底し、結果として利用者の尊厳を保持することができています。

2. 【コロナ禍後の利用促進への取組と利用しやすいサービスの提供】

短期入所者生活介護（ショートステイ）では、毎月の実績報告書と空き情報を各居宅介護事業所へ届け、その際にケアマネジャーと直接話をする事により、顔の見える関係性の再構築、密な連携を図ることにつなげています。空き情報について、X（旧ツイッター）を開設し、定期的に更新を図り、4週間先の空き情報をアップすることにより最新の情報を提供することができています。また、紙ベースで毎月、3ヶ月分の空き情報の配布やFAX送信等により多くの事業者へ発信することで、新規利用者の獲得並びにコロナ禍で遠のいていた利用者の利用促進につながっています。

3. 【地域に対する取組】

地域における公益的な取組において、近隣の玉川小学校4年生に向けた勉強会とデイサービス利用者との交流会を年3回実施し、高齢者に対する意識の醸成と高齢者への接し方等について子どもが体験できる機会を提供しています。また、昨年度からつながりがある平間こども文化センターと共同で車いす体験の交流会を開催し、20名余の子どもが体験しました。また、玉川こども文化センターでは、職員向けに地域包括ケアセンターの勉強会と認知症サポーター養成講座を開催しています。今年度から新たな取組として、「見守りの担い手作り」とするよう、積極的に中・高生のボランティアの受入れを進め、5名の学生に対して高齢者福祉の学習とデイサービスでの、短時間のボランティア体験を実施しました。今後も地域施設と共に様々な企画を実施することで、地域社会へのより一層の浸透を図って行かれることを期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 特別養護老人ホーム ひらまの里

《第三者評価を受審した感想、自己評価に取組んだ感想》

外部の方からの意見をいただくことで、自らは気づき難い部分に気付くことができました。（強み・弱み・両方とも）。

今後は、より利用者さんの立場に立ったサービス提供を心掛けていきたいと思っております。

《評価後取組んだ事として》

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 掲示物の更新2. 報告書が完成したら内容を確認し、取組むべきことを考えていきます。 |
|---|

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり